

一生に一度の人生の節目 成人式

1月13日、公民館やコミュニティセンターなど市内12会場で成人式が行われました。今年市内で成人を迎えたのは2,957人。市津地区の会場となった市津公民館では、79人の新成人が式典に参加し、記念撮影をするなど同級生や恩師との再開を楽しんでいました。また式典の後半には、市原ふるさと太鼓保存会による祝太鼓の演奏や、市津GROW-UPダンスクラブによるヒップホップダンスなどが披露され、会場全体が笑顔に包まれました。



郷土芸能『ばか面踊り』で新成人を祝福（市津地区）

をするなど同級生や恩師との再開を楽しんでいました。また式典の後半には、市原ふるさと太鼓保存会による祝太鼓の演奏や、市津GROW-UPダンスクラブによるヒップホップダンスなどが披露され、会場全体が笑顔に包まれました。

PHOTO セレクション

多文化共生のまちを目指して 食を通して外国文化を知る

外国人市民との交流を通して外国文化に触れることを目的として、1月20日にyouホールで『食を通して外国文化を知る～ブラジル料理～』（主催：市原市国際交流協会）が開催されました。当日は外国人と日本人合わせて20人以上が参加。日系ブラジル人が料理の講師を務め、終始和やかな雰囲気の中でみんなで料理。食後は参加者から「ブラジル料理は味が濃いイメージがあったけれど、さっぱりしていてびっくりした」との感想が聞かれました。



楽しく会話をしながら料理



食後はブラジルについてのクイズに挑戦

より利用しやすくリニューアル 五井駅直結 サンプラザ市原



2面が鏡張り、美術品の展示に使えるピクチャーレールも完備（多目的室）

サンプラザ市原では、1月から、ダンスなどに利用できる多目的室（7階）や音楽スタジオ（8階）などを新たにオープンしました。多目的室でダンスの練習を行った市内アイドルグループ『Tree Angel・COSMIC11』のメンバーは「フローリングがピカピカだし、鏡張りで、自分のフォームを見ながら練習できるのでとっても踊りやすいです。駅から近いし、窓から見える空と海の眺めも最高！」と満面の笑みで話してくれました。

梅ヶ瀬溪谷は化石の宝庫？ 世界最大のトドの仲間の化石を発見



発見された化石を手に、現存するトドの下顎の骨と比較

昨年5月に梅ヶ瀬溪谷で発見された化石が、約90万年前に絶滅したトドの仲間の下顎先端部分のものと分かりました。体長は5mと推定され、現存するトドも含め世界最大。約90万年前の房総近海には世界最大のトドの仲間が生息していたこととなります。化石を保管している県立中央博物館主任上席研究員の伊左治鎮司さん（左写真）は「この発見で、専門家はもちろん、一般の人でも梅ヶ瀬溪谷に興味を持ちます。今後も梅ヶ瀬溪谷から、たくさんの化石が発見されるでしょう。ぜひ『梅ヶ瀬探検ツアー』を企画したい」と話してくれました。トドの化石は、現在調査中で展示されていませんが、同館には市原市内で発見された、アジアスイギュウなどの化石が展示されています。

小域福祉ネットワーク②②

五所小学校区小域福祉ネットワーク

同ネットワークでは、子どもの見守りをする『スクールガード』や世代間交流などの地域福祉活動に取り組んでいます。『歳末たすけあい運動』の一環として、五所小学校の児童と、きねと臼を使った伝統的な餅つきを行いました。



元気な掛け声に合わせて、餅をつく児童

同ネットワークの中村会長は、「地域での支え合い・助け合いの仕組みづくりを進めていきたい」と話します。

問合せ先 保健福祉課 ☎ 9768

Ichihara 国際通信 ~多文化共生~

国際交流パーティの開催



会場を沸かせたペルーの踊りの華麗なステップ

外国人市民と日本人市民が共に理解・協力し、誰もが元気に暮らせるまちをつくるためには、互いの文化、習慣などを尊重しながら交流を深めることが大切です。その一環として、市原市国際交流協会主催の『国際交流パーティ』が、1月6日にyouホールで行われました。立食形式のパーティで、ペルーの踊りや韓国太鼓（サムルノリ）などが披露されました。参加者は、互いに交流を深め、楽しい時間を過ごしました。

問合せ先 人権・国際課 ☎ 9826

ホームタウン通信

『皇后杯全日本女子サッカー選手権大会』準優勝を報告



来季の活躍を誓う柳井選手（左）と篠井選手（右）

12月27日に、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの篠井選手と柳井選手が来庁し、同大会の準優勝を市長に報告しました。あと一歩で優勝を逃したことを悔しがりながらも、来季の活躍を力強く誓ってくれました。3月から始まる来季も、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースを応援しましょう。

問合せ先 スポーツ振興課 ☎ 9851